

猪名川町立六瀬幼稚園 令和5年度学校関係者評価書

【教育目標】	豊かな心と健やかな体をもち 生き生きと生活する幼児の育成
めざす幼稚園像	地域に愛され、信頼される幼稚園
めざす子ども像	元気いっぱい遊ぶ子 感性豊かな思いやりのある子 自分で考え行動できる子

学校関係者評価総評
<p>・新しい試みや現場から「こうしたらいいのでは…」というアイデアが出てきて実行に移せることは、とても嬉しく思います。園児数やムード、個性に合わせて柔軟に周囲のサポートを得ながらより良い園になっていけると思います。</p> <p>・全般的に職員の自己評価が高いのは良いことだと思う。職場としての透明さを感じる。地域の公立幼稚園として、幼児教育の受け皿としての盤石さは期待以上にある。こうした幼稚園の存在があること、いかに安心して住める地域であるかということも、幼稚園と地域とともに発信していきたい。</p> <p>・初めても3歳児保育。たくさん可能性を伸ばしてもらった。園で、友達と一緒に聞いて、学んで出来るようになる姿をたくさん見ることが出来た。子ども達がいかにいきいき過ごせるか、いつも真剣に考え、実行してくれている。</p>

(A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない)

(◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない)

評価の観点	教職員 評価基準					評価	園の改善方策	自己評価は適切か	改善方は適切か	学校関係者評価委員の提言
	A	B	C	D	A/B評価					
園運営	教育目標「豊かな心と健やかな体をもち、生き生きと生活する幼児の育成」は達成できたか	86%	14%	0%	0%	100%	A	◎ 87.5%	◎ 75%	<p>・今年度から3歳児保育開始、松尾台幼稚園との統合で、園児数が2倍となり、大変なことがたくさんあったと思いますが、事故や問題もなくスムーズに1年が過ぎようとしているのも、園側の細かい配慮があったからだと思います。</p> <p>・行事など、園児たちは意欲的に取り組んでいて良かったと思います。運動会では、自信に満ち溢れた顔で取り組み、発表していたように思いました。素晴らしいです。車を運転されない松尾台校区の保護者の来園方法が、本数の少ない阪急バスのみ…どんなに良い園でも、保護者にとって、行きにくい園では、自分の子どもをいかにさせるのにはネックになるのではないと思う。対策を講じる必要がある。</p> <p>・土曜日開催の行事は大変な難しかった。普段見ることが出来ない兄弟達が見ることが出来た。また、松尾台幼稚園出身の兄弟にとっても、知っている先生との再会など出身園に戻ってきたようで嬉しかったと話していた。</p> <p>・3歳児保育が始まったが、園児が非常にのびのびと過ごしていた。運動会では、見せ方の工夫に感心した。日常行う運動をサーキット化し、繰り返したり高さや幅を広げることで、同じ演目が長く濃い内容と感じられた。そして、保育をできるだけ可視化し、その過程や振り返りを発信しておられる様子は、開かれた園運営に結びついていると思う。</p> <p>・リズム運動などの体幹、体力づくりは集団であるからこそ、幼児が楽しく取り組めるプログラムだと思う。何年も前から実践していることだと認識しているが、これからは保育の基本として継続してほしい。</p> <p>・「健やかな体」を育てるためのリズム運動は、小学校へ行っても座る姿勢に関わる大変重要な取り組みである。わが子でも実感している。赤ちゃんの時にしておくべきことも1から振り返りていくので、今後も是非続けてほしい。</p> <p>・松尾台地区の保護者の交通事情については、引き続き真摯に向き合って良い解決策を導き出してほしい。中学校のバス等、今ある手段を活用するための制度変更ができないものなのか疑問が残る。保護者アンケートのレートが前年を下まわったのは、園区が広がり、対象年齢が広がったことで、物理的な見えにくさも要因となっているのではないかと。</p> <p>・分掌や情報共有について職員間で高い評価がついているのは、すばらしいこと。職員の働きやすさが保育の質を上げることになると思う。</p>
	園行事を幼児が主体的に楽しく参加できるよう計画し、実施できたか	58%	42%	0%	0%	100%	A			
	園行事やオープン参観は保護者や地域が参加しやすいように実施されていたか	72%	28%	0%	0%	100%	A			
	園分掌は適切に分担され、運営されているか	100%	0%	0%	0%	100%	A			
	職員間の共通理解、信頼関係に基づいて保育が行われているか	100%	0%	0%	0%	100%	A			
	公簿類の整理及び処理と期日までにやり、関係書類の保存管理を適切に行えたか	86%	14%	0%	0%	100%	A			
教育計画 研究推進	子育てについての相談がしやすい開かれた園づくりができていたか	42%	58%	0%	0%	100%	A	◎ 75%	◎ 62.5%	<p>・今年度から3歳児保育も始まったことで、成長が目に見えてわかる3歳児の姿から学ぶことも多かった。今後も、幼児の幼児一人一人・学級として・園としてなど様々な視点から取り組みを振り返り、来年度以降に活かしていきたい。</p> <p>・今年度は教育委員会指導主事に日常の保育を見ていただき助言いただくことができ、とても有意義であった。(「MAIDO」事業) 客観的な視点を保育改善に活かしていきたい。</p> <p>・今年度から3歳児保育も始まったことで、成長が目に見えてわかる3歳児の姿から学ぶことも多かった。今後も、幼児の幼児一人一人・学級として・園としてなど様々な視点から取り組みを振り返り、来年度以降に活かしていきたい。</p> <p>・体カアップサポーターや運動遊びの講師から学びの機会を頂いたことで、具体的な支援のポイントや幼児の好奇心をくすぐる方法など、具体的に学ぶ機会となり教師が研鑽を積むことができた。ただ、他園の保育を見に行く機会が管理職しかできなかったため、今後は担任が直接保育を見て学ぶ機会を設けていく。</p>
	園内研修や研修会などに積極的に参加し、指導力等資質の向上に努めることができたか	86%	14%	0%	0%	100%	A			
生活・安全 教育環境	危機管理に対する意識をもち、体制作りをしていたか	72%	28%	0%	0%	100%	A	◎ 62.5%	◎ 75%	<p>・地域の方も一緒にもちつきなど食育が出来たのはよかった。</p> <p>・生産、食育は六瀬幼稚園の大きな強みだと思う。保護者の評価も高く、ぜひ今後も継続して力を注いで欲しい。</p> <p>・クッキングは、家でも手伝えたいと言ってくれ、ご飯を作って出すと「おいしい。ありがとう！」と言ってくれ食べる。作りたいの「食」は、もちろん「食」に対する感謝の心も育ったと感じる。</p> <p>・危機管理意識、防災に関しては、ウェブサイトの報告からも興味深く見せてもらった。家庭への啓発も行われたということで、保護者にとっても自ら情報を取りにくいことを知りうる良い機会になると思う。</p> <p>・衛生、安全に関しては、園児にもわかりやすい取り組みがされている。</p> <p>・園で学んだ手洗いの仕方、咳エチケットなどが普段の生活でいかされています。</p> <p>・施設の整備点検、修繕管理の部分の自己評価が低めである理由があるのでしょうか →(回答) 毎月20日の職員による定期点検がその日のうちに出来なかったり、修繕依頼をしている修繕箇所が費用面から見合わせていたりすることから、A評価が少なかった。今後も、教育振興課と相談しながら修繕を進める。</p>
	遊具・用具の安全な使い方を指導していたか	58%	42%	0%	0%	100%	A			
	幼児の心身の健康に留意して、健康管理ができたか	72%	28%	0%	0%	100%	A			
	保健指導や食育指導が実践できたか	72%	28%	0%	0%	100%	A			
	施設の整備点検、修繕管理ができ、園が生活の場として美しく整っていたか	28%	72%	0%	0%	100%	A			
	消耗品や水道、電気など意識して節減に努めたか	58%	42%	0%	0%	100%	A			

特別支援教育	特別支援教育コーディネーターを中心に、計画的・組織的に取り組めたか	58%	42%	0%	0%	100%	A	・町や川養の巡回相談を活用し、心理士や支援の専門の方の意見を聞く機会が多く持てた。受けたアドバイスを基に、教師間で意識を共有し、支援に活かすことが出来た。今後も継続できるように、職員間で再確認を行っていく。	◎ 62.5% ○ 37.5%	◎ 87.5% ○ 12.5%	・園長先生を中心に、先生方が支援のいる幼児への、理解と手立てが理論と根拠で確かな支援へと結びついている様子が伺え、素晴らしい。引き継ぎでは、具体的方策やこれまでの育ちが聞けて、小学校として非常に安心している。今後も、連携を深めたい。
	幼児一人一人の困り感に寄り添った支援を話し合い、必要に応じて「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、支援内容の明確化と共有化を図っていたか	86%	14%	0%	0%	100%	A	・巡回相談を保護者の方と一緒に受け、アドバイスを聞くことができた。また、支援に関して、アセスメントを行い、課題や目標を園と家庭が共通理解し、確認し合えることが出来た。支援方法や園でのかかわり方の意図、家庭での困り感など互いに学びが多くなった。今後も丁寧な時間をかけて行っていきたい。 ・子育て講演会として、手をつなぐ育成会・福祉体験啓発グループいなキャラさんによる「福祉疑似体験講座」を実施することができた。自分視点だけでなく、他者から見えている視点など気づきが多く得られた。多様性の時代を生きる子ども達を育てる保護者として、新たな学びとなったように思う。今後も保護者と共に、子育てのヒントを得る意味でも、教師と保護者が共に考え、楽しく学べる機会を作っていきたい。			・特別支援教育は、家庭との連続性や情報共有が重要だと感じる。そこに力点を置いたことはとても良かったと思う。また、特定の園児ではなく全ての園児に対して共通する姿勢としての「支援」についても、園としてよく考えているように見受けられる。 ・園児だけでなく、保護者と一緒に体験できたのは、とてもよかった。他校園へも勧めていければいいと思います。 ・巡回相談を保護者と一緒に受け、共通理解できているのは素晴らしいと思う。 ・特別支援教育とは・・・をもっと具体的に身近に発信してほしいと思いました。
保育指導	幼児が興味関心をもつ保育活動や豊かな体験ができる保育環境の工夫ができたか	72%	28%	0%	0%	100%	A	・(上記※3) ・少人数の幼児への関りが手厚すぎること、幼児から発信する前に教師が声を掛けたり、助けてしまったりする様子が多く見受けられた。そのため職員の共通理解として、「幼児からの発信を大切に」「困る経験を大切に」という思いで幼児に関わった。その結果、幼児が思いを伝えようとする機会が増え、発語の少なかった幼児も、積極的に発信する様子が見られるようになった。また、困った時、考えたり、友達や教師に、「手伝って、教えて」と自ら助けを求めたりすることが増えた。今後も生きる力に繋がる土台をしっかりと園で築けるように意識したかかわり方をしていきたい。	◎ 75% ○ 25%	◎ 100%	・受け入れる、受け止めるだけでなく、自分から助けを求めることや、何が必要か、欲しいかなど伝えられる力を付けるのは、今後も大切な能力だと思います。
	自分の思いや考えを言葉で伝えたり、話を聞く態度を育てたりするなど、言葉の力の向上に取り組むことができたか	28%	72%	0%	0%	100%	A	・言葉を育てる取り組みとして、3歳児は、日々数冊の絵本の読み聞かせや活動後の思いを自由に発言する機会を意識して行ってきた。4・5歳児は、活動の振り返りやその都度丁寧に言い、思いを伝える・思いに耳を傾ける・他者の思いを知ることなど意識して保育を行ってきた。成果として、3歳児は、聞く力が育ち、言葉も豊富になり、自己表出にも成長が見られた。4・5歳児は、自分の考えを伝えようとする姿や他者の考えを聞き、自分の思いと調整する力が育ちつつある。中には、集団での自己表出が苦手の幼児もいるが、その子なりの表現を他児が理解し、受け入れるようになってきた。個・集団、それぞれの育ちを意識した取組を工夫しながら続けていきたい。			・「自分の思いや考えを言葉で伝えたり、話を聞く態度を育てたりするなど、言葉の力の向上に取り組むことができたか」で自己評価が低めであるが、これからも継続して言葉を育てる取り組みを進めて欲しい。
	あいさつや手洗い、衣服の着脱など幼児の基本的な生活習慣の形成に取り組むことができたか	58%	42%	0%	0%	100%	A	・(上記※1) ・職員全員で日々の幼児の様子を共有してきた。担任だけでなく、様々な教師が幼児の頑張りや他児へのかかわりの良い面などを言葉で伝え、自信へと繋げられるよう意識してきた。中には、人前では発言しにくい幼児もいたもので、その子なりの表現を受け止め、声をかけすぎて緊張を高めるのではなく、見守る事も大切な支援であることを共通理解しかわるようになった。			・2月の発表会を見たが、園児の豊かな発想力をうまく劇の動きやセリフに組み込み、幼児を大切にしたい園だと感じた。また、場面転換の方法など、省スペースを活かした衝立等の工夫が見えて新鮮だった。
	遊びを通してルールや約束を守ることの大切さや相手を思いやる気持ちをはぐくむことができたか	42%	58%	0%	0%	100%	A	・(上記※2) ・言葉による自己表出、コミュニケーション能力は、就学前にできるだけ育てたいところ。子ども本人の発信を待つ、絵本の読み聞かせや活動の振り返りなどの工夫はとても良いことだと思う。			・小学校においても少人数の集団が続くと、固定した人間関係の中で、どうしても言葉によるコミュニケーションが育ちにくいと感じている。とても重要な部分に注力しているので、取り組みとその成果としての子どもの育ちを家庭にも共有すると良いと思う。
	保育環境などを工夫し、幼児の体力づくりに努めることができたか	42%	58%	0%	0%	100%	A	・(上記※2) ・絵本をたくさん読んでもらったことによって、言葉が増え、文字に興味をもち、3歳児にとってはものすごく成長伸びにつながったと思います。全く話を聞く気がなかったわが子が、話を聞くようになり、自分の気持ちを「いや」だけでなく、「○○だからいやだよ。○○して」と話せるようになり、この一年大きくなったと感じる。			・年長児から3歳児が教わったことも多く、人数が少ないので全員で活動することが多く、少人数保育がマイナスに見られがちですが、互いに育ちあう素晴らしい環境だと改めて感じた。
	生き物の世話や植物の栽培を通して生命の大切さを指導できたか	58%	42%	0%	0%	100%	A	・(上記※2) ・絵本をたくさん読んでもらったことによって、言葉が増え、文字に興味をもち、3歳児にとってはものすごく成長伸びにつながったと思います。全く話を聞く気がなかったわが子が、話を聞くようになり、自分の気持ちを「いや」だけでなく、「○○だからいやだよ。○○して」と話せるようになり、この一年大きくなったと感じる。			・年長児から3歳児が教わったことも多く、人数が少ないので全員で活動することが多く、少人数保育がマイナスに見られがちですが、互いに育ちあう素晴らしい環境だと改めて感じた。
一人ひとりの良さががんばりを認め励まし、個々に合った指導ができたか	86%	14%	0%	0%	100%	A	・(上記※2) ・絵本をたくさん読んでもらったことによって、言葉が増え、文字に興味をもち、3歳児にとってはものすごく成長伸びにつながったと思います。全く話を聞く気がなかったわが子が、話を聞くようになり、自分の気持ちを「いや」だけでなく、「○○だからいやだよ。○○して」と話せるようになり、この一年大きくなったと感じる。	・年長児から3歳児が教わったことも多く、人数が少ないので全員で活動することが多く、少人数保育がマイナスに見られがちですが、互いに育ちあう素晴らしい環境だと改めて感じた。			
保護者・地域異校種交流	園での出来事や幼児の成長について機会あるごとに伝え、保護者との連携を図ることができたか	58%	28%	14%	0%	86%	A	・松尾台校区の未就園児に園を知ってもらうために、伏見池公園に出向いて子育て支援活動を行ったり、キッズフェスティバルへ参加したりした。しかし、園児の総数も激減し、「いなぼう広場」(子育て支援活動)への参加者が多くは集まらなかった。園の活動を広く知っていただく機会を模索していきたい。	◎ 75% ○ 25%	◎ 62.5% ○ 37.5%	・園児を集める工夫は、北部の小学校である本校も、同じ悩みを抱えている。PRの場と方法を学校運営委員会でも談義して来年度は更に具体的に進める企画を考えています。園だけではできないことが、地域や保護者など関係者が見方となって、多様な意見が出ると思う。
	未就園児と在園児との保育を計画的に実施し、子育て支援に取り組むことができたか	58%	42%	0%	0%	100%	A	・令和5年度からの松尾台幼稚園との統合に向けて、幼児交流の機会を多く持ってきたことで、段差なく松尾台幼稚園から六瀬幼稚園へと移行できた。園区が広がったことで、親子で降園後も遊ぶ機会をもつなど、かかわりが広がった様子が見られる。今後も、園が保護者の方達の関係も繋いでいけるような役割を果たしていきたい。			・今年度は、1年生が園訪問をさせていただいたが、発表の機会をもらい、少人数が多く役割を持ち参加できていた。ありがとうございました。幼小交流を来年度はぜひ年間スケジュールを見とおして、入学時と卒園前にコロナ以前のように2回ほど、計画的に進めて行きましょう。
	地域やPTA活動に関心をもち、積極的に参加・協力ができたか	28%	72%	0%	0%	100%	A	・(上記※2) ・トライやるウィークだけでなく、トライやるアクションとして園の運動会や生活発表会など、ボランティアとして清陵中学校生徒が関わってくれた。また、中学校文化祭へも参加させていただく機会ができ、幼児自身もいい経験となった。幼児と中学生が、年齢差もあることで、互いにいい刺激を与え合える関りとなった。3小学校との交流(プール・体育遊び・タブレット活用・授業体験 等)の機会をもつことができた。どの小学校の1年生も交流するための準備などをしてくれ、迎え入れてくれたことで、小学校へ期待感が醸らむ、充実した意味ある交流ができた。、来年度は、年間を通じて計画的に交流していきたい。			・日程が上手く合わずに、連携することが出来ずに申し訳ありませんでした。園児にとっても小学生にとっても学ぶところが大きいと思うので、計画的に推進していけたらと思います。
	幼・小・中の連携を、ねらいをもって計画的に推進できたか	14%	86%	0%	0%	100%	A	・(上記※2) ・絵本をたくさん読んでもらったことによって、言葉が増え、文字に興味をもち、3歳児にとってはものすごく成長伸びにつながったと思います。全く話を聞く気がなかったわが子が、話を聞くようになり、自分の気持ちを「いや」だけでなく、「○○だからいやだよ。○○して」と話せるようになり、この一年大きくなったと感じる。			・少人数のため、外部の人や他の人達と関わる機会を多く作るのは賛成です。 ・地域も含め、幼、小、中の交流はどんどんしてほしいです。教職員同士の連携も含め、実りある交流ができれば良いと思います。高校生とも交流できたら良いですね。 ・幼小中のかかわりは、ものすごく多く(特にトライやるの方々)、子ども達も親しみを持って関わられたと思います。 ・自分の体験を振り返ると、第一子が未就園児の頃は、幼稚園への関心が低く、自分の住むエリアの公立幼稚園に自動的に通わせるという意識でしかなかった。それでも、保育の内容は満足できるものであり、園としての特色も感じることもできた。 ・幼稚園での指導が、小学校生活を見据えて長期的な視点で、保護者へのかかわり、助言が出来て感謝しています。 ・園区が広いため、課題も多いかもしれませんが、「公立どう？」と聞かれることも多くあるので、今後もっと広がっていくと思っています。 ・幼稚園は小学校と異なり、保育園や私立という選択肢が存在するため、競合関係があるが、地域の幼稚園として確固たる教育を提供してくれているだけでありがたい。子どもを持つ世帯が住みたいと思える地域となること、これは地域の人間とともに考えていく課題かと思う。

評価 A:80%以上 B:70~79% C:60~69% D:59%以下

その他ご意見
※評価表を見て…
・教職員アンケートを行った場合、AB評価合わせると100%であったとしても、AとBの違いは大きいはず。園の評価が全てAだが、自らの園を振り返り次年度への方針に活かすためにも、評価は差別化した方が良いのではないかと思った。また、改善の方策については、目に見える形での評価の方が職員間の共有がしやすいように思った。